

下顎骨切り術を受けられる()さんへ(金曜入院、水曜手術)

説明日(/)説明者氏名() STA1900032-0

月日(日時)	/	/	/	/		/	/	/ ~	/	/ ~
経過(病日等)	入院日(金)	入院翌日(土)	手術前日(火)	手術当日(術前)(水)	手術当日(術後)(水)	術後1日目(木)	術後2日目(金)	術後3日目(土)	術後7日目(水)	術後8日目～退院
達成目標	◇手術の必要性を理解し手術を受け入れることができる ◇入院生活に対する理解ができる ◇感冒症状がない				◇離床後安全に歩行ができる ◇創部が止血している ◇バイタイルサインが安定している ◇創部に感染所見がない ◇痛みがコントロールができる					【退院基準】 ◇退院の生活に不安がない ◇痛みがコントロールできている
治療・薬剤 (点滴・内服)	お薬とお薬手帳を持参してください 病棟内の処置室で診察があります	入院中は毎朝9時から 病棟内の処置室で医師の 診察があります		手術前に点滴をしなが ら手術室へ向かいます (1番目の手術の方以外) 指示がある薬のみ 内服します 手術着に着替えます(パンツ は履いていても構いません)	口の中に血抜きが管が入ります 抗生剤・痛み止めの点滴があります 処置室での診察が2回／日あります (朝9時・夜7時) アイスパックで創部を冷やします 手術後から腫れ止めの バンドを顔に巻きます	6時、14時、22時に抗生剤の点滴が あります 6時、11時、16時、21時に痛み止めの 点滴があります	血液量が少なくなっていれば 血抜きが管が抜けます 採血で問題なければ6時の 点滴終了後に針を抜きます 顎間固定を開始します 痛み止め・しびれ軽減の内服 が始まります		顎間固定を解除し 開口訓練が始まります	9時の診察を受けてから退院になります 痛み止めは10日目から頓服になります
処置										
検査	術前に検査がある際はご説明します					採血があります	顔のレントゲンがあります			
活動・安静度	特に制限はありません			血栓予防の為に、術前から 弾性ストッキングを着用 します(両足) ()時頃 手術室へ向かいます	麻酔から十分に 覚めるまでベッド上安静です 初回歩行時は看護師が 付き添います	特に制限はありません				
安全	ナースコール・ベッド柵を設置します スリッパではなく、かかとのある靴の 使用をお願いします									
食事	普通食を摂取していただきます (軟らかいご飯やおかずに変更 できます)			()時から絶食です ()時から飲水はできません	口の中の管が抜けるまでは食事・ 水分摂取が出来ません 食事の代わりに栄養剤の点滴を 行います		医師の確認後水分摂取が 出来るようになります 昼食より重湯流動食が 開始になります		昼食から三分粥・ 三分菜へ変わります	9日目に全粥・粥菜に変わります 退院前に普通食へ変わります
清潔	入浴・シャワーができます		必ず入浴を 済ませてください 爪が長い方は 爪を切ってください	洗面・歯磨きをして下さい 男性は髭剃り、 女性は化粧やマニキュアを 落とします		口の中に管が入っている間は 体拭きをします	管が抜けたらシャワー浴が できます			
排泄	特に制限はありません				手術中に尿の管を入れます 医師の指示があれば抜去します	特に制限はありません				
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	入院生活の流れの説明・ 病棟案内を行います お薬について薬剤師より説明が あります ※食物でアレルギーがある場合は 医師か看護師にお知らせください 医師から手術の説明があります		病棟看護師から 手術の準備説明が あります 手術室看護師から 手術について説明が あります 夕方3時～5時頃 麻酔科医の診察が あります	髪が長い方はゴムで まとめます 入れ歯・時計・指輪・湿布・ 眼鏡・コンタクトレンズなど 手術室へ行く前に必ず 外します	口の中の血液は吸引しますので ナースコールでお知らせください 本人とご家族へ 主治医より術後に説明があります	手術前から服用している薬は 主治医の指示にて再開します		開口訓練を行い、口が 4cm開くようになれば 退院の目安になります 赤外線の照射方法を 説明します	退院時に医師から経過説明があります (次回受診日についても) 退院時お薬の処方がある場合は 薬剤師から説明があります 看護師から退院指導があります	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 歯科口腔外科 西棟12階病棟 2023.8月改訂